



# 海老沼小だより

～かしこく やさしく たくましく生き抜く子  
笑顔と歌声あふれる学校～

6月号

令和3年5月31日

さいたま市立海老沼小学校



## 思いやりの心

校長 宮本 江津子

1学期の半分が終わりました。すがすがしい風が吹き渡る日々が続いています。でも、もうすぐ梅雨に入ってしまいます。学校の紫陽花の花も、あちらこちらで咲き始めました。子ども達にとっては、雨は、あまり歓迎されませんが、紫陽花の花は、雨が降るのを待ち望んでいるでしょう。私も、紫陽花といっしょで、雨が好きです。雨は、いろいろなものをすべて洗い流して、きれいにしてくれるから……。雨の音も好きです。雨にもいろいろな雨があるので、雨の音もそれぞれ違って聴こえます。しとしと降る雨の音が、私は好きです。しとしと降る雨の音が聴こえるくらい、静かな日が、好きです。

さて、6月は、「いじめ防止月間」です。今日の講話朝会では、『いじめ』について、子ども達に問いかけました。

みなさんは、『いじめ』ってどういうことか、わかりますか？

お友達が嫌がることをして、相手が「嫌だ！」って思うこと。お友達が「やめて！」と言っているのに、嫌がることを続けること。蹴ったり、ぶったり、暴力をふるうことも、いじめです。お友達の物を、盗ったり隠したり壊したりすることも、いじめです。タブレットやスマホを使って、ネット上で人の嫌がることを書くことも、いじめです。

みなさんは、大丈夫でしょうか？お友達が「やめて！」と言っているのに、ふざけた気持ちで、やり続けていませんか？

自分はいじめしていない。でも、いじめられているのを、知っていて、見ていて、何も言わないのも、いじめているのと同じです。

いじめは、絶対にダメです。いじめは、絶対に許しません。

友達を大切にしてください。自分も大切にしてください。

あなた達のまわりにいる人達を、大切にしてください。

みなさんは、『思いやり』という言葉を知っていますね。どういう意味か、わかりますか？

『思いやり』とは、『相手の気持ちを、思いやること』です。『相手の気持ちを、考えること』です。

自分のことばかりでなく、自分のことよりも相手のことを先に考えられる、そんな優しい気持ちをもった人になってください。

人の心を傷つけてしまうことがないように、子ども達に向けて具体的に伝えました。みんなが互いを思いやって行動できれば、優しく柔らかい空気に包まれます。そんな学校を目指して、保護者の皆様、地域の皆様と共に、子ども達の心を育てていきたいと思っています。